

昭和30年の津山駅

写真提供・赤坂 健太郎さん(岡山市)

昭和30年夏、国鉄(現JR)津山駅前風景です。津山駅は大正12年8月21日に開業しました。増築も見られますが、写真の駅舎本体は開業当時の姿を残しています。駅舎正面入り口に「祝国鉄バス開通」の横断幕が掛かっています。これは、津山と倉吉を結ぶバス路線・美伯線のことです。津山駅と上井駅



現在の津山駅

(現倉吉駅)間を運行しました。この路線は、津山から勝山を経由して倉吉に至る鉄道路線・勝南線の先号として開業しました。しかし、自家用車の普及により、昭和60年に休止路線となってしまう、勝南線の建設もなくなってしまいました。現在、津山駅を発着するバスは、関西方面へのハイウェイバスが多く見られますが、これは昭和50年に開業しています。駅の前には、昔懐かしいボンネットバスが停まっています。これからこのバスに乗り込むのでしょうか、ワイシャツ姿の男性も数人写真に写っています。行き先表示板には「貸切」と書いてあることから、美伯線を利用した職場の慰安旅行かもしれません。ナンバプレートは、現在の形式とかなり違っていますが、これは当時の法律に定められたもので、現在の形式になるのは昭和32年からです。

暑い夏、これから旅行に行く人たちを見送りに来たのか、涼しげな服装の姉妹らしき少女たちが一服の清涼感を漂わせています。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

問い合わせ先

〒708-0022 津山市山下92
津山郷土博物館 ☎22-4567

表紙について

ひょうご
飛揚二胡の会

7月17日、一宮公民館

2本の弦を弦の間に挟んだ弓で弾く中国楽器の二胡。哀愁を帯びた音色は聴く人の心に響いてきます。津山国際総合音楽祭での演奏に向けて、この日も練習に励んでいました。



つぶやき
編集室

ツイッターが流行っているらしい。「つぶやき」と称して今、していることや思っていることなどを携帯やインターネットに書き込むと、リアルタイムで情報が伝わるとか。同じ「つぶやき」だ、まねしてみよう。「今、つぶやき編集室を書い…」…あれ、これ何日後に伝わるの?(~)

我が子の野球の試合。スタンドは暑く、応援でさらに熱く。結果は7対1で残念。彼らの球夏は終わった~(涙)。気分ダウン(涙)。次の目標目指してがんばれ~!最近、応援に行っていなかった私も暑さと熱さにやられダウン(涙)。“なでしこジャパン”の強さが欲しい~(G)

津山圏域消防組合本部にある防災学習センターの来館者が5万人を超えました。わたしも以前、子ども会などで訪館し、地震体験コーナーで震度7を体験しました。あまりの揺れの激しさに為す術なし。身近な体験施設、有効に利用して、いざという時に備えたいですね。(修)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページPC版

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください



東日本大震災復興支援運動「Proud! Japan」について

Proud! Japanというロゴマークとともに、「被災地の皆さんは日本の誇りです! だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしてみようという運動です。